

2019年11月28日

## 日本ドローンサッカー連盟 設立

～ドローンサッカー®を通じ、地域コミュニティの活性化を促進する～



埼玉県戸田市で実施した地域大会



学生と社会人が同じフィールドで対戦

株式会社オートバックスセブン（代表取締役 社長執行役員：小林喜夫巳）と株式会社オーイーシー（代表取締役社長：加藤健）、AOS テクノロジーズ株式会社（代表取締役社長：佐々木隆仁）の3社は、ドローンサッカー®という競技の活動を通じ、地域コミュニティの活性化を促進することを主たる目的とした「日本ドローンサッカー連盟」を設立いたしました。

### ここがポイント！

- ドローンサッカーとは、球状のプラスチックフレームに覆われた『ドローンサッカーボール®』を使用し、5対5で戦う最新戦略型チームスポーツです。
- 同連盟は、ドローンサッカー®に関する活動を通じて、地域コミュニティの活性化やバリアフリースポーツの導入と展開、そしてドローン操縦技術の向上を図ることを目的としています。

当社は2017年9月より、アウトドアやレジャーなど、クルマで出掛けた先での楽しみを提供することを目的に、ドローン販売を開始しました。また、2019年2月からは、ドローンサッカー®というドローンとサッカーをミックスした競技を日本市場に初導入し、普及を担っています。

このたび設立した「日本ドローンサッカー連盟」は、ドローンサッカー®に関する以下の活動を通じて、地域コミュニティの活性化や青少年の健全な育成、バリアフリースポーツの導入と展開、浸透、そしてドローン操縦技術の向上を目的といたします。

### 【活動内容】

1. デモンストレーション等のイベント企画・運営
2. トーナメント大会の開催  
(地域大会、エリア大会、全国大会、日韓戦、アジア大会、ワールドカップ)
3. その他ドローンサッカー普及に関する活動

(次ページに続きます)

## 【ドローンサッカー®とは】

日本をはじめ、世界の国や地域で導入が進められている韓国発祥の競技で、球状のプラスチックフレームに覆われた『ドローンサッカーボール®』を使用し、5対5で戦う戦略型チームスポーツです。

ドローンサッカー®は、区切られたフィールド（最大幅：20m×奥行き：10m×高さ：5m）の空間において、ドーナツ型のゴールにドローンを通すことで得点を競うスポーツです。オフェンス用ドローン1機で得点を獲得しつつ、他の4機でオフェンスの支援や自ゴールのディフェンスをすることから、スピードだけではなく、チームとしての連携など、高い戦略性が求められる競技となっています。

ドローンサッカー®は、お子様からご高齢者、体に障がいを持つ方まで、年齢や性別を問わずに同じフィールドで楽しみを共有できるバリアフリーな競技です。また、競技を通じてセンサーレスのドローンサッカーボール®の操縦に習熟することで、ドローン飛行技術の向上とともに、家族や企業、学校行事、地域のコミュニティなどでの、チームワークやコミュニケーションの醸成にも貢献できるものと考えています。

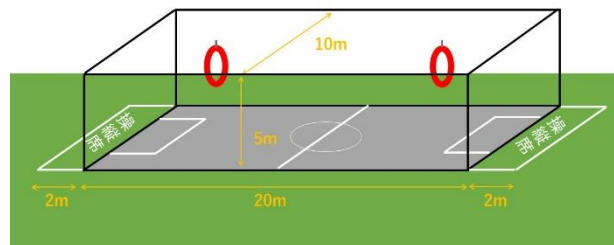
今後、日本ドローンサッカー連盟への参画企業や会員の募集を開始し、直径40cmの競技用機体を使用した、日本初のドローンサッカートーナメント大会の開催を、12月21日に大分県大分市にて予定しています。日本のみならず、韓国やその他の国や地域ドローンサッカー団体と連携し、2021年から2023年にかけてアジア大会や世界大会を開催し、2025年には第1回ワールドカップの開催を視野に入れた活動をしてまいります。

日本ドローンサッカー連盟 HP：<http://japan-dronesoccer.com/>

※『ドローンサッカー®』および『ドローンサッカーボール®』は、AOSテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

今後も「常にお客様に最適なカーライフを提案し、豊かで健全な車社会の創造を使命とする」という当グループの経営理念に基づき、新たなライフスタイルを提供してまいります。

以上



ドローンサッカーのフィールド



この件に関するお問い合わせ

### 【お客様からのお問い合わせ】

オートバックスお客様相談センターフリーコール：0120-454-771  
受付時間：平日 9:00～12:00 13:00～17:30

### 【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社 オートバックスセブン IR・広報部 鈴木、前川、石井  
〒135-8717 東京都江東区豊洲 5-6-52 NBF 豊洲チャンネルフロント  
TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762